

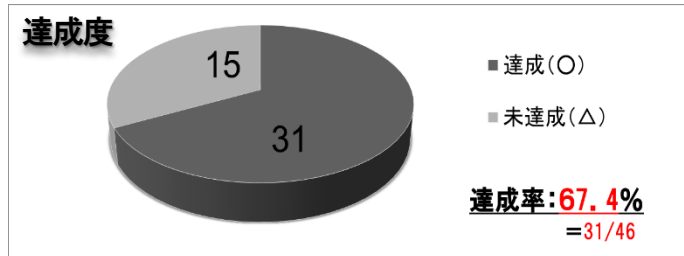
前橋市行財政改革推進計画（H28～H30）

～3ヵ年の取組結果（確定）の概要～

1 計画全体の取組結果

計画に位置付けた46施策の計画期間（平成28年度から平成30年度まで）における取組結果は「取組が完了したもの、あるいは計画どおりに取り組み、数値目標も含め達成したもの」が31施策となり、計画全体では67.4%の達成度となりました。未達成となった施策でも、目標指標には届かなかったが一定の実績をあげることができました。

（※31施策のうち2施策は、2ヵ年計画により平成29年度で取組が完了しています。）



2 計画全体の成果

計画に位置付けた施策の財政効果は、人件費の削減、保育所運営の効率化、勤労青少年ホームと勤労女性センターの統合、ファシリティコスト削減等を進めたことによる経費削減が約4.9億円、有料広告事業の推進、普通財産の売払い、産業立地推進事業特別会計保有地の売却促進等による歳入確保額が約25.0億円となり、3ヵ年の成果の合計は約29.9億円となりました。

経費削減
約4.9億円

歳入確保
約25.0億円



財政効果額合計
約29.9億円

主な実績及び財政効果（3年間合計）

- ・職員数の適正化 ⇒ 約2.8億円経費削減
- ・保育所の効率化 ⇒ 約2,400万円経費削減
- ・ファシリティコストの適正化 ⇒ 約1.4億円経費削減
- ・勤労青少年ホームと勤労女性センターの統合 ⇒ 約2,700万円経費削減
- ・有料広告事業の推進 ⇒ 約1.2億円歳入確保
- ・普通財産の売払い ⇒ 約12.3億円歳入確保
- ・産業立地推進事業特別会計保有地の売却促進 ⇒ 約11.5億円歳入確保

3 目玉施策の取組状況

本計画における重要施策として取組推進に特に注力しました。（【】は該当する計画番号と施策名）

チャレンジ その1

窓口業務をはじめ様々な分野で民間委託化

【5. 民間委託等の推進】

取組状況

- 市民課証明交付窓口
 - ・平成30年12月から市民課証明交付窓口の委託を開始
- 斎場管理運営業務
 - ・平成29年度から炉裏業務の委託を開始し、平成31年度から炉前業務の委託を開始

チャレンジ その2

正規職員の数による管理から総人件費による管理へ

【3. 職員数の適正化】

取組状況

- 技能労務職の退職不補充、事務事業の見直しに伴う職員の配置見直し、再任用短時間職員との置換え等により、計画を上回る職員削減（▲39人）を行いました。人件費では、再任用職員及び非正規職員を含めた総人件費ベースでH28年度比約2.8億円減（3年間合計）となりました。

チャレンジ その3

ファシリティマネジメントの本格実施へ

【21. 施設評価による方向性の整理】【22. 市有建物の長寿命化の推進】
【23. ファシリティコストの適正化】

取組状況

- 施設評価及び施設カルテの更新の取組を統合し、公共施設白書を改訂
- 予防保全計画推進プログラムの本格実施
- 簡易点検マニュアル等による市有施設の一斉点検を実施
- ESCO手法による照明機器のLED改修（ヤマダグリーンホーム前橋）、ひかり電話及び節水器の見直しによるコスト削減、電力入札方法の見直しによるコスト削減、警備・宿日直業務の長期継続契約の入札時期の見直しによるコスト削減

チャレンジ その4

ICTのさらなる利活用、マイナンバー制度の積極活用

【43. ICTの活用】【45. マイナンバーカードの独自利用・普及促進】

取組状況

- 母子健康情報サービスの登録者数 556人（H31.3末現在）
- 地域経済応援ポイントやマイタクにおけるマイナンバーカードの活用（マイタク用マイナンバーカード登録者3,366人 H31.3末現在）

チャレンジ その5

名誉顧問、観光大使などを活用した効果的なシティプロモーション

【42. 効果的なシティプロモーションの推進】

取組状況

- 移住コンシェルジュを中心とした移住・定住相談会、市単独イベントの開催
- 都市魅力アップ共創（民間協働）推進事業を推進
 - ・「まえばしサイクルオアシスプロジェクト」、「自動車運転免許取得支援プロジェクト：タイガーマスク運動支援事業」等

4 計画外の行財政改革の取組み

計画に位置付けた施策のほか、計画外で独自に取り組んだ取組は6施策となりました。新たな視点を持った行財政改革も着実に推進しています。

- 飲料水備蓄計画の見直し
- 用途廃止施設の民間活用
- 農業インスタグラムによる情報発信
- 広告付きAED無償設置事業
- 計量器定期検査業務の民間委託化
- 総合防災訓練の実施方法の見直し